平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会福祉原論A (Principles of Social Welfare A)			授業コード	E022401
担当教員名	栗延　孟			科目ナンバリングコード	E20903
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	社会福祉士国家試験受験希望者は必修科目となっています。				
受講心得	見ること，聞くこと，真剣に考えること，そして，自分の意見を持つことを心がけてください。				
教科書					
参考文献及び指定図書	新・社会福祉士養成講座4『現代社会と福祉』中央法規 精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー『社会福祉原論』へるす出版 岩田正美ほか『社会福祉の原理と思想』有斐閣 金子光一『社会福祉のあゆみ』有斐閣 古川孝順・金子光一編『社会福祉発達史キーワード』有斐閣 岩崎晋也・池本美和子・稲沢公一『資料で読み解く社会福祉』有斐閣				
関連科目	高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，地域福祉論，社会保障論，公的扶助論				

授業の目的	福祉政策の理念・原理・歴史について理解を深め，福祉ニーズと資源の関係を考察し，現代社会にはどのような社会問題が福祉と関係してくるのかを考えます。
授業の概要	「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正に伴って，従来の「社会福祉原論」に代わって，新たに「現代社会と福祉」という科目が設けられました。科目名こそ従来のままだとはいえ，本科目は「現代社会と福祉」のシラバスにしたがって行われます。「現代社会と福祉」は社会政策，とりわけ福祉政策の原理的問題に重きが置かれています。従来よりも理論的色彩の濃いものとなっています。また貧困，社会的孤立，自殺，虐待などといった社会問題と福祉政策がどのようにかかわるのかについて，深い理解が求められています。日頃から社会問題について強い関心を懐くことが必要です。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション・社会福祉とは？ 本講義の目的および到達目標等について説明します。 ”福祉”や”福祉活動”とは何かについて概説します。	予習：講義の目的等についてシラバスを確認する 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 2 週 ： 福祉制度の概念と理念 社会福祉の目的概念，実体概念について説明します。また，福祉制度の根底となる社会福祉法と諸分野の法制度との関係やその内容について概説します。	予習：福祉制度の概念と理念について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 3 週 ： 福祉政策の概念と理念 政策について，その定義，種類(社会政策，福祉政策，社会福祉政策)について説明します。また福祉政策の歴史的変遷について概説します。	予習：福祉政策の概念と理念について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 4 週 ： 福祉制度と福祉政策，福祉政策の主体と対象	予習：福祉制度の主体と対象について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる

これまでの福祉制度や福祉政策の概念と理念をもとに，福祉制度と福祉政策の関係について考えていきます。また，福祉政策の主体と対象について説明します。	
第 5 週 ： 福祉の原理をめぐる理論 福祉の原理（基本原則，根本原則）のうち，「選別主義と普遍主義」，「ナショナルミニマムと社会保障」について説明し，今日の社会に求められる福祉のあり方について考えていきます。	予習：福祉の原理を巡る理論について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 6 週 ： 福祉の原理をめぐる哲学と倫理 福祉の原理をめぐる哲学と倫理として，「糸賀一雄の活動」と「朝日訴訟と生存権保障」を取り上げ，福祉に求められる哲学について説明します。また，なぜ福祉実践者にどのような倫理が求められるのかについて考えていきます。	予習：福祉の原理を巡る哲学と倫理について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 7 週 ： 各国の社会福祉の発展過程① 本講義では各国の社会福祉の発展過程のうち，イギリスの福祉制度の発展を取り上げます。本時では，①中世封建社会，②産業革命時を中心にエリザベス救貧法から新救貧法に至る経緯，慈善組織協会による活動，セツルメント運動について説明します。	予習：エリザベス救貧法，新救貧法について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 8 週 ： 各国の社会福祉の発展過程② 本時では，第2次世界大戦前までのイギリスの救済制度について取り上げます。ブース・ラウントリーが行った貧困調査の概要とその結果が与えた影響とベヴァリッジ報告を中心に説明します。	予習：イギリスにおける貧困調査，ベヴァリッジ報告について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 9 週 ： 各国の社会福祉の発展過程③ 本時では，戦後のイギリスの福祉制度について取り上げます。イギリスにおいてソーシャルワークの専門性が高められた活動や貧困の捉え方の議論やコミュニティワークの発展を中心に説明します。	予習：イギリスにおけるコミュニティワークの発展について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第10週： わが国における社会福祉の発展過程① 本時では，わが国に社会福祉の発展過程のうち，前近代社会と近代社会における福祉制度の変遷を取り上げます。恤救規則から救護法制定へ至る背景やその概要について説明します。	予習：戦前のわが国の社会福祉の歴史について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第11週： わが国の社会福祉の発展過程② 本時では，戦後の福祉制度の変遷のうち，福祉3法体制の確立と戦後処理（1947～1960年代前半）について説明します。	予習：戦後の社会福祉のうち，福祉三法体制の確立等について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第12週： わが国の社会福祉の発展過程③	予習：戦後の社会福祉のうち，社会福祉見直し期について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる

本時では，戦後の福祉制度の変遷のうち，オイルショックや高度経済成長の終焉による社会福祉の抑制とそれに伴う社会福祉・福祉制度の見直し期（1970～1980年）について説明します。	
第13週： わが国の社会福祉の発展過程④ 本時では，戦後の福祉制度の変遷のうち，諸計画に基づく福祉の展開がすすめられだした背景とその概要（1990年代前半）について説明します。	予習：戦後の社会福祉のうち，1990年代前半の計画による社会福祉の展開について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第14週： わが国の社会福祉の発展過程⑤ 本時では，戦後の福祉制度の変遷のうち，在宅福祉を中心とした福祉の展開が図られた背景とその概要（1990年代後半）について説明します。	予習：戦後の社会福祉のうち，1990年代後半の在宅福祉の展開について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第15週： わが国の社会福祉の発展過程⑥ 2000年以降の福祉制度の発展過程について取り上げるとともに，今日のわが国の福祉制度が直面している現状と課題について考えていきます。	予習：こんにちの社会福祉の変遷について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第16週： 期末試験 期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。	予習：これまでの配布資料，板書等を整理するとともに，講義内容について振り返る

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考	講義内容については，進行状況等により変更する場合があります。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	現代社会における福祉制度の意義や理念，福祉政策との関係について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	各国およびわが国における社会福祉の発展過程について説明することができる。
【思考・判断・創造】	今日の福祉の原理をめぐる理論と哲学について考察することができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				

【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**50点**		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**25点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**25点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 （提出物）	
発表・その他 （無形成果）	